

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和七年十月十日発行（毎月一回十日発行）

定価 五〇〇円

第1009号

龍

跳

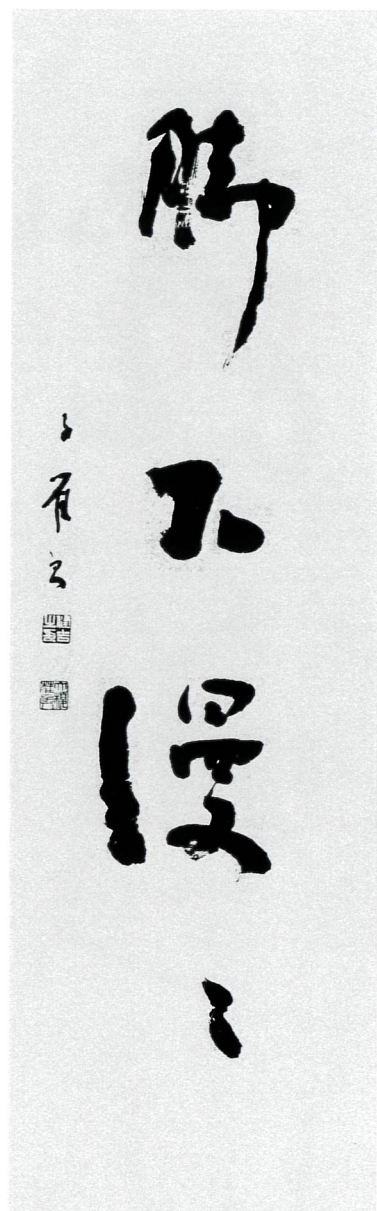
第八十一卷

11

月号

高知
龍跳書道会

竹
村
子
雀
書



脚
下
漫
々

翻刻左繡敘 しやう

貫名菰翁 ぬきなすお

後之為史者。固將取法於斯。
 奉以周旋也。然春秋之為書。
 俟後賢傳說疏解。尚且左支
 右吾。不易明晰如是。則後人
 何從措手。古之所稱以為良
 史者。不以不懼不諂不失事。

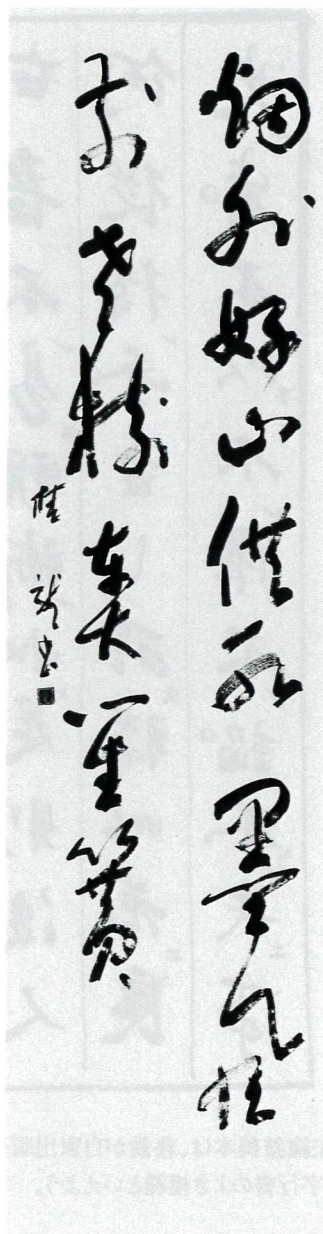
後之為史者。固將取法於斯。奉以周旋也。然春秋之為書。俟後賢傳說疏解。尚且左支右吾。
 不易明晰如是。則後人何從措手。古之所稱以為良史者。不以不懼不諂不失事。

この左繡敘稿本は、菰翁が自家出版した左繡(嘉永七年刊)のための叙文の草稿である。細字行書のよき模範といえよう。

梅川桂龍書

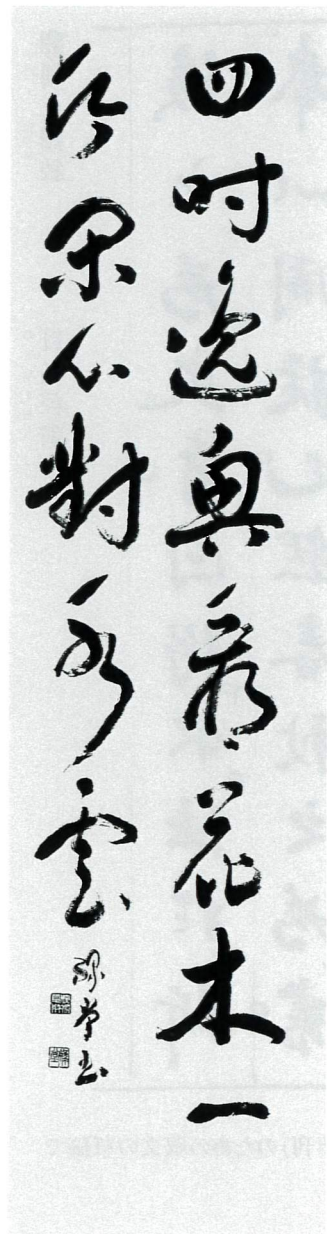
烟外好山供水墨

風前老樹奏笙簧



深瀨綠堂書

四時逸興看花木一片閑心對水雲



梅
川
桂
龍
書

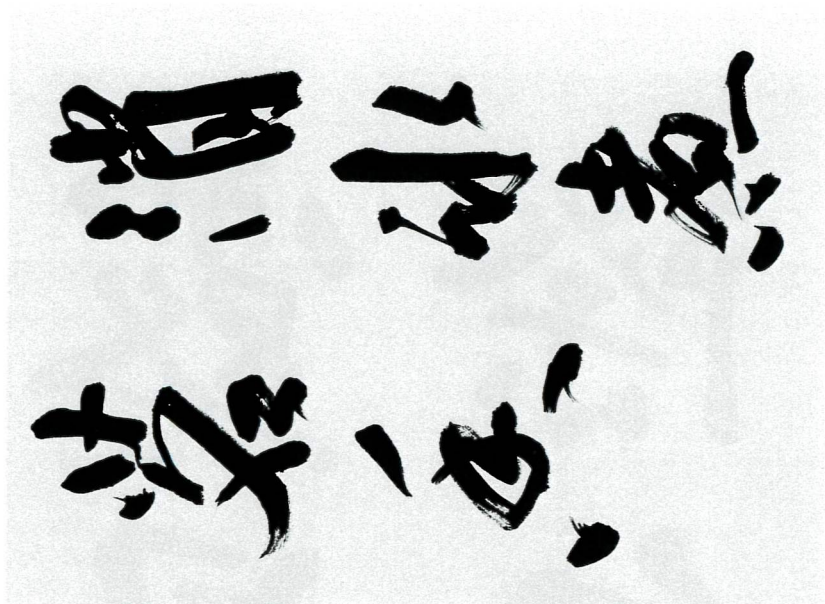
露
昇
林
際
白

露^{つゆ}昇^{のぼ}つて林^{りん}際^{さい}白^{しろ}く

10月20日締切

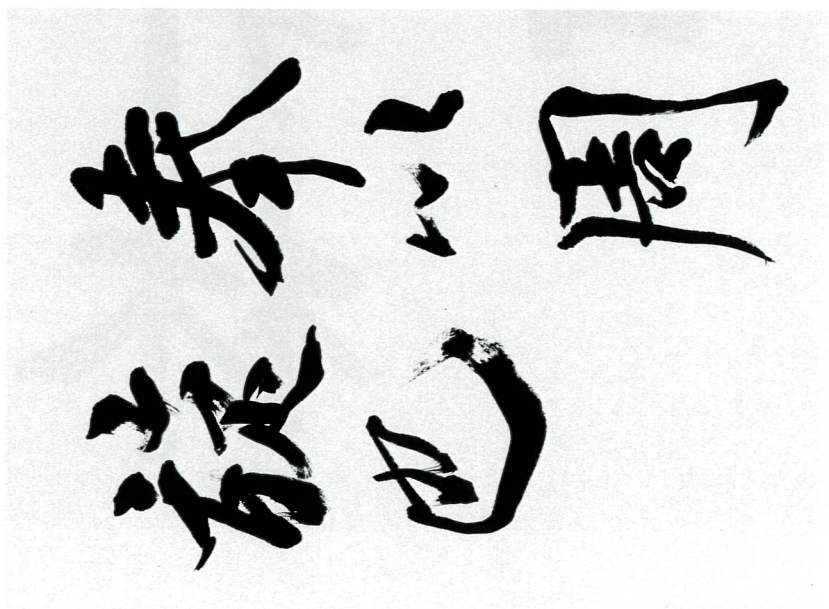
福 原 曉 雲 書

水みづを消しょうし 苜めいを煮ゆて 香かほし



福 原 曉 雲 臨

魯 中 春 秋



江西澄翠書

江煙煖道中天
雨柳紅亭帶月歸

中平美峰臨

大神朝居廣野大日
麻田吉門大吉祥

岩河里華臨

其子之用為親書何
能生能保書亦

戸田孝北臨

忽披想書已銷陶尔
卿香兩累及左

形昇物表慈舟整
汎俱生愛河慧

武政幽雅

朱霞仁々所在佳乃
至少信遂不取答

太平圭子

石継降意戒足有以宋洋色二語為
童子才數四五人童子信

門田恵子

沈塘人却影於水風
露曉涼香勝花未衣衣

野中恵花

照同卑吏又授宋書
百官志八座同是

大井 淳

有以事乃一曰任之
乃為心尺上示

広田秋桜

將軍吳公津久字才
大夫行由給事父

伊吹悠道

多同好群輩伴不詳
朝来還露簡便

山脇佳月

永清河妙之古河雅好
與映英迷去依之粧

西山極山

蒙榴謝安移在子
敬上真自批帖尾

明石美桂

条幅当選作品 前田秀華 選評

★天位

大井 淳君 〓 食い込んだ線で安定している。
野中恵花君 〓 流れ良く強い線で決まっている。
門田恵子君 〓 原帖をよく捉え臨書への姿勢が佳。
大平圭子君 〓 筆力充実し堅実な書きぶり。
武政幽雅君 〓 軽快な動きで爽やかな臨。

★地位

明石美桂君 〓 力まず楽に臨し品格を感じる。
西山極山君 〓 流暢な運びが一紙を呑む。
山脇佳月君 〓 紙面が明るくて体が動いている。

★人位

伊吹悠道君 〓 よく躍動しています。
広田秋桜君 〓 円滑にして真面目な臨。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

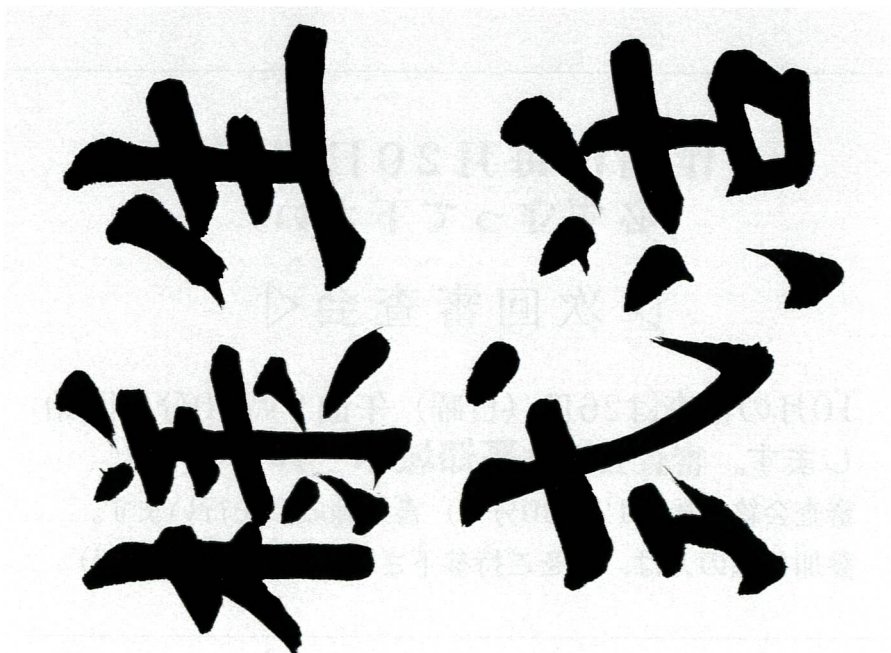
10月の審査は26日（日曜）午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

審査会終了後（12時30分～）書道錬成会を行います。

参加希望の方は、筆をご持参下さい。（参加料500円）



11月20日縮切



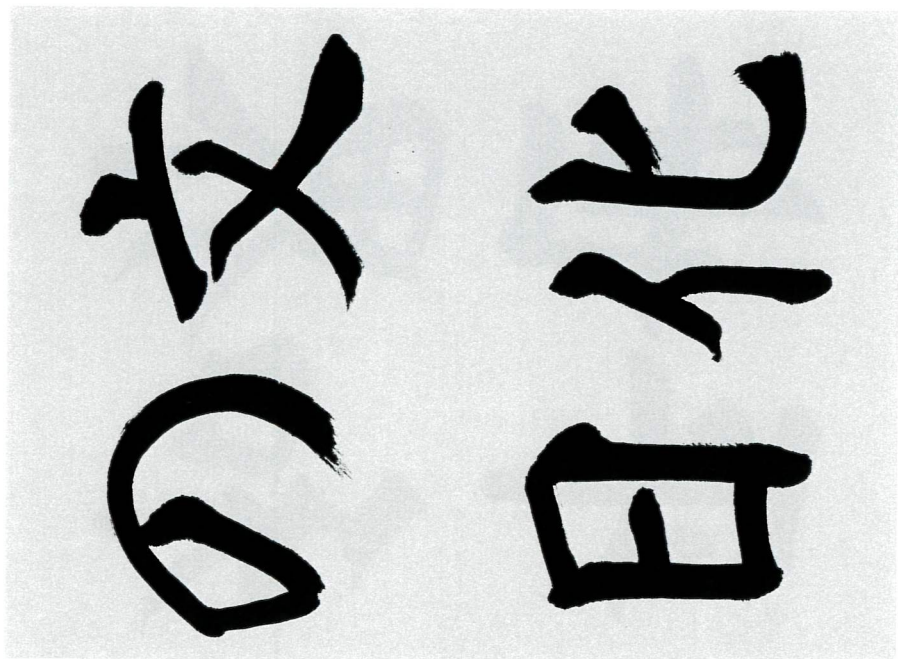
11月20日縮切

世界平和

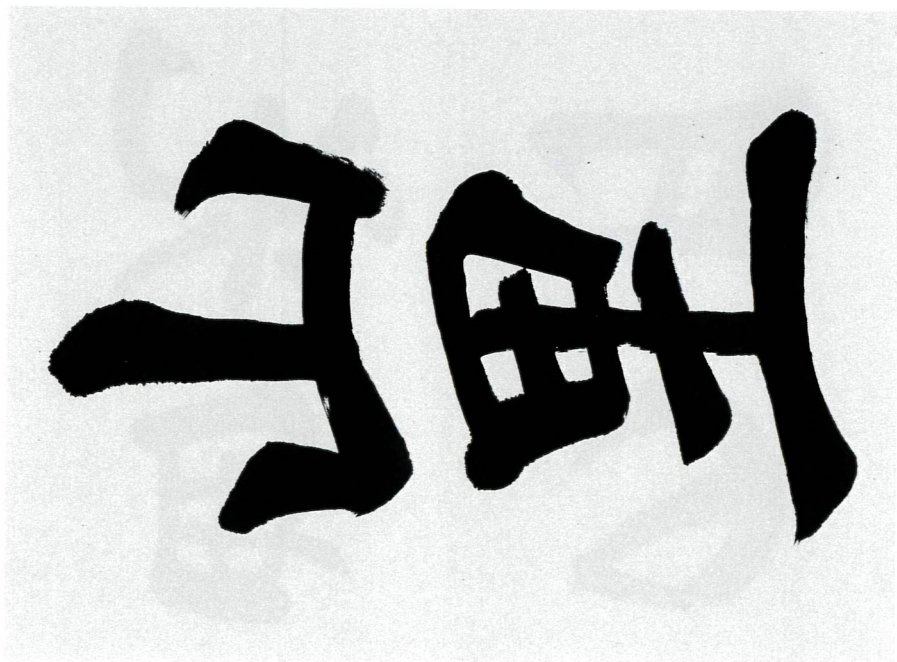
11月20日締切

月光の曲

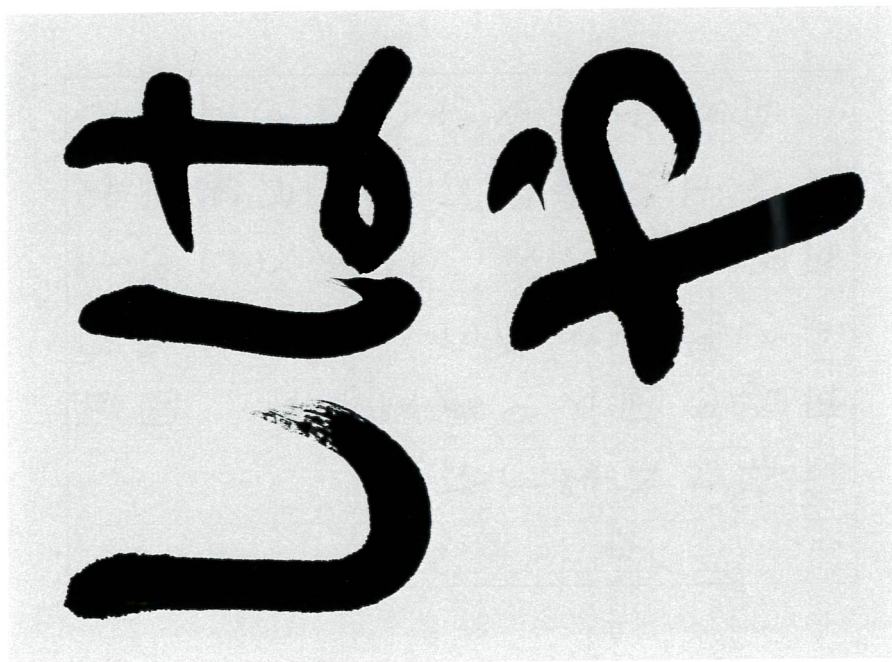
11月20日締切



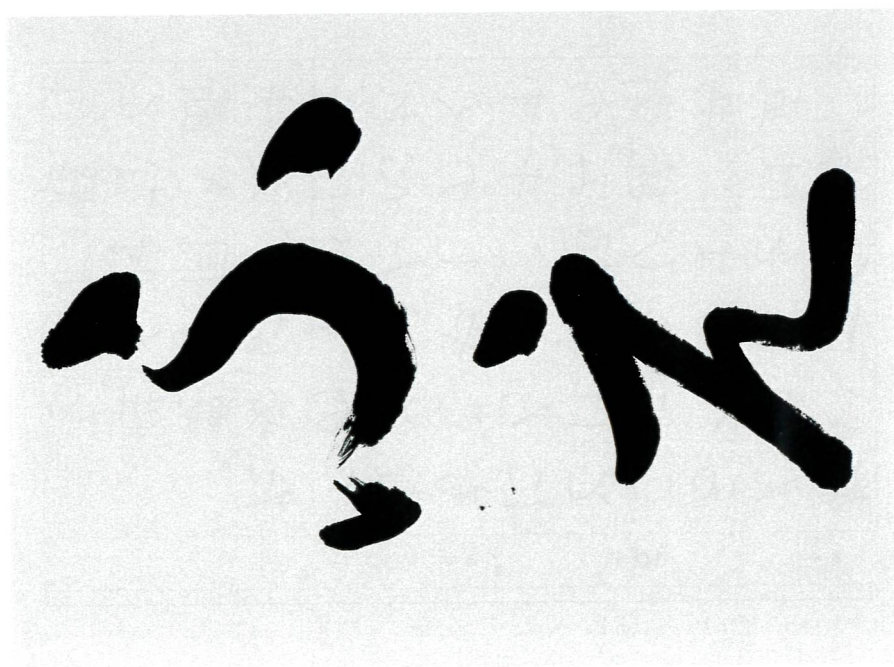
11月20日締切



11月20日締切



11月20日締切



11月20日締切

世界中で少なくとも五千万									
人以上が犠牲になった第二次									
世界大戦の後、二度とこのよ									
うな戦争を起こさないために									
世界の国々が集まって、国連									
は作られました。									
学 校 名				六 年	級 段	氏 名			

11月20日締切

五兵衛のすぐれた決断と行									
動は、読み手の心に大きな感									
動をよび起こしたが、同時に、									
津波のこわさや、すばやく高									
い所へにげることの必要性を									
教えることにもなった。									
学 校 名				五 年	級 段	氏 名			

11月20日締切

おかげさまで「地元の									
和紙作り」の発表を行う									
ことができました。西山									
さんに協力していただい									
たアンケート結果も、表									
にまとめて発表しました。									
学校名				四年	級段氏名				

11月20日締切

みそを作るには、むし									
た米が麦にコウジカビを									
ませたものを用意します。									
それと、しおを、にてつ									
ぶした大豆にくわえてま									
ぜ合わせます。									
学校名				三年	級段氏名				

11月20日締切

二年生に なつて
から これまでに
心に のこつた で
きごとを みんなの
前で 話しましょう。

かっこう

一 ねん

だ だ
ゆ う ん
な ま え

11月20日締切

しょうぼうてい
は、ふねの 火じ
を けす ための
ふねです。

かっこう

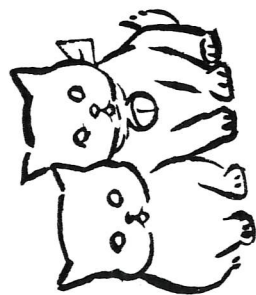
一 ねん

だ だ
ゆ う ん
な ま え

11月20日締切

かっこう											
は			ね			だ				ん	
え			ん			う				は	
え			ん			そ				く	
え			ん			す				。	
た の し い お べ ん とう き ょ う は え ん そ く です。											

11月20日締切





(一・二段目) 梅川桂龍 選評

恵花君 輕快にして伸びやかな作。

孝北君 屈託のない線質に魅力あり。

廣峰君 剛健な筆致が魅力の作。

真理君 慎重な動きで安定している。

竹山君 線に深味があり、氣力充実の作。

美賀君 まじめな書、章法も安定している。

(二・三段目) 武内美仁 選評

美桂君 流れ円滑にて、余裕を感じる。

淳 君 飾り氣なく、ゆつたりと書して良し。

紫秋君 重厚な線で見応えあり。

加寿君 字々明るく、力みなく良くまとめている。

順子君 氣力充実で迫力を感じる。

(三・四段目) 大原桂園 選評

美草君 おちついた線で、余裕あり。

美香君 余白があり、明るい作品。

和美君 温かみのある線で健康な作。

志津君 すっきりして美しい。

勝子君 墨量多く豊かな書。

紀美子君 明るくよく筆が伸びている。

(四段目) 大原桂園 選評

千賀君 筆が立ち、明るい作。

里恵君 力強く堂々としている。

美佐君 明るく、よく整っている。

非經傳也

有張良善用薦

如終之理

敦煌效穀人也

九成宮

聖教者法法之

非經傳也

非經傳也

玉破鱸魚霜金

佐事刺史

非經傳也

貞指永智

長契神情先芝

菊松多喜色

歌吹簫調絃

菊松多喜色

佐事刺史

遇禁內潛隱

方期穀

高直沉默恥

(一・二段目) 福原曉雲 選評
賀峰君 運筆の緩急、線にゆとり有。
桂園君 九成客臨、余白が利き、大胆作。
邦心君 蜀素帖臨、良い流れだがもう少し小さく書いたかった。
桂旭君 集字聖教序臨、布置章法が大変良いです。運筆リズムが利いています。
美佐君 争座位臨、緩急油濁を加味し品格大胆。
和子君 線質良く上品さが出ていますが落款の研究を願います。
(二・三段目) 廣末幽念 選評
悠道君 流れよく強い線で決まっています。
淳君 懐も大きく伸びやか。
薫山君 筆勢あり力強い作。
仁陽君 線も良く伸びバランスも良い。
順子君 力みなく良くまとめている。
(三・四段目) 西山極山 選評
美枝君 動き大きく力強さを感じます。
美香君 原帖の特徴を捉えています。
明美君 小粒だが温和な線で安定しています。
虎之介君 堂々として迫力を感じる。
美知子君 線はよく伸び余白がきれいです。
伸枝君 筆圧もきき作品安定しています。
(四段目) 西山極山 選評
千賀君 灌頂記の線が出て品格あり。
志津君 柔らかい線で流れあり、すばらしい。
有紀君 いてねいな書きぶり。この調子でがんばって下さい。

長岡小 五年 森田実咲 高足音	岡豊小 六年 中司 こころ 大会 体育	六年 秋 須南 四年 西村 永希 大会 体育	六年 大城 リサ 大会 体育	科学 技術	男立 二年 松本 智志 表現 言語
四年 竹内 かほ 秋の	浦内 四年 正木 芳尚 秋の	四年 西村 永希 秋の	五年 西内 明利 高足音	須崎 金堂 一利 本 高足音	野市小 五年 小笠原 結那 高足音
あまろ二ん さんごうの のか むし	二年 金堂 こころ 夕日	同量 五年 中司 ひのり 夕日	新庄 五年 中島 創斗 夕日	上分 三年 吉村 はるか 夕日	あまろ二ん さんごうの のか 秋の
ついでに そば	すざや 一ねん 金堂 こな そば	しんごう 五年 中島 創斗 そば	岡豊豆小 二年 三谷 斗維 むし	野市小 二年 小笠原 えな むし	あまろ二ん さんごうの のか むし

(一段目) 中学部

葉奈君 Ⅱよくまとまり明るい作。
仁貴君 Ⅱゆつたりとして良い。

(一段目) 小学六年

リサ君 Ⅱ力強く書けて良い。
香月君 Ⅱゆつたりと書けている。

こころ君 Ⅱ真面目によく書けている。

(一・二段目) 小学五年

実咲君 Ⅱおおらかによく書けています。

結那君 Ⅱていねいに書けました。

莉李君 Ⅱしっかりと書けています。

明利君 Ⅱのびのびと書けました。

(二・三段目) 小学四年

太希君 Ⅱのびのびと書けています。

芳尚君 Ⅱ力強い線で書けています。

つたね。

かなこ君 Ⅱ上手に書けています。これからがんばつてね。

梨衣奈君 Ⅱていねいに書きました。

(三段目) 小学三年

はるか君 Ⅱ元氣よく筆がよく立っています。

彩斗君 Ⅱ明るく線も強い。

みのり君 Ⅱ大きく動きで作品もおちついていきます。

こうすけ君 Ⅱまじめにていねいに書けています。

(三・四段目) 小学二年

のぞみ君 Ⅱ大きくしっかりと書けています。

ゆま君 Ⅱのびのびとして力強い。

えな君 Ⅱ氣持ちよく書けましたね。

斗維君 Ⅱ堂々として立派です。

(四段目) 小学一年

ゆいと君 Ⅱ元氣いいですが、もう少し字を小さく書けばいいです。

こな君 Ⅱよく書けています。

はると君 Ⅱ「そ」の字、よく書けています。

岡林邦心 選評

岡林邦心 選評

中平美峰 選評

中平美峰 選評

深瀬緑堂 選評

深瀬緑堂 選評

水田紅子 選評

長岡 北村さくら子
上ノ加江 政岡桃加

チリのイースター島では、豊かな森林の恩恵を受けて、高度な技術をほこる巨石文化が栄えた。西暦一五〇〇年ごろには、人口は七千人に達していたと推定されている。
…長岡 北村さくら子

チリのイースター島では、豊かな森林の恩恵を受けて、高度な技術をほこる巨石文化が栄えた。西暦一五〇〇年ごろには、人口は七千人に達していたと推定されている。
…上ノ加江 政岡桃加

知り合いのかりうどにさそわれて、わたしは、イノシシがりに出かけました。イノシシがりの人々は、みな栗野岳のふもとの、大造じいさんの家に集まりました。
…長岡 北村さくら子

知り合いのかりうどにさそわれて、わたしは、イノシシがりに出かけました。イノシシがりの人々は、みな栗野岳のふもとの、大造じいさんの家に集まりました。
…野田 小笠原 結那

長岡 森田 実咲
野市 小笠原結那

浦ノ内 中平 澤里
須崎 田村 紗雪

知り合いのかりうどにさそわれて、わたしは、イノシシがりに出かけました。イノシシがりの人々は、みな栗野岳のふもとの、大造じいさんの家に集まりました。
…浦ノ内 中平 澤里

梅ぼしの作り方を、三つに分けて順番に説明します。まず、水あらいで、次に、梅を塩づけにします。最後は、日光に当ててはす作業です。
…須崎 田村 紗雪

梅ぼしの作り方を、三つに分けて順番に説明します。まず、水あらいで、次に、梅を塩づけにします。最後は、日光に当ててはす作業です。
…浦ノ内 中平 澤里

梅ぼしの作り方を、三つに分けて順番に説明します。まず、水あらいで、次に、梅を塩づけにします。最後は、日光に当ててはす作業です。
…長岡 森田 実咲

岡豊 島村 心遥
長岡 竹内かなこ

すぎき 金堂 涼
上分 吉村はるか

初夏の里山は、緑いっばいの。とてもうつくしい世界です。イネが元気にすくすくとそたち、やさしい風にふかれて、ゆれていきます。
…すぎき 金堂 涼

初夏の里山は、緑いっばいの。とてもうつくしい世界です。イネが元気にすくすくとそたち、やさしい風にふかれて、ゆれていきます。
…上分 吉村はるか

初夏の里山は、緑いっばいの。とてもうつくしい世界です。イネが元気にすくすくとそたち、やさしい風にふかれて、ゆれていきます。
…岡豊 島村 心遥

えっちゃんはおかあさんに、赤いすてきなぼうしをもらいました。うーん、見て、ごらん。
…あそう 二五郎 中司 みのり

岡豊 中司 みのり
あそう うめばらゆま

多ノごう 坂本みさき
佐川 井上 めい

えっちゃんはおかあさんに、赤いすてきなぼうしをもらいました。うーん、見て、ごらん。
…多ノごう 坂本みさき

えっちゃんはおかあさんに、赤いすてきなぼうしをもらいました。うーん、見て、ごらん。
…佐川 井上 めい

えっちゃんはおかあさんに、赤いすてきなぼうしをもらいました。うーん、見て、ごらん。
…多ノごう 坂本みさき

ぬるり わかめ ししこ たこ ふきだいこん
うーん、見て、ごらん。
…多ノごう 坂本みさき

うらノ内 とくながあやと
うらノ内 やまさきひな

第970回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

審査 前田 秀華

(※印写真版)

★推薦

※江西澄翠
※中平美峰
※岩河里華
※戸田孝北

★天位

※大井 淳
※野中恵花
※門田圭子
※大平圭子
※武政幽雅
大原桂園
濱田順子
鈴木輝代
濱田幸子
田村眉州
横山星舞
市川美香

★地位

※明石美桂
※西山極山
田村和子
田村佳月

★人位

※伊吹悠道
※広田秋桜
藤原朱鳳
水田紅子
池田芳春

規定

審査 梅川 桂龍

★師範

須南 野中恵花
佐川 戸田孝北
野崎 小笠原廣峰
旭筆 大江西澄翠
越知 弘田賀峰
岩谷紅花
大石千施
山崎隆志
橋本祝子
山川百合
小野山美喜
佐竹江月
岡林康華
岡林翠

★準師範

窪川 今井真理
安芸 岩崎竹山
窪川 大野美賀
窪川 林緑翠
旭筆 橋本祝子
大野見 西村芳香

岡田雄山
岡林邦心
高橋美草
高橋紫秋
川崎志津

上江 佐竹江月
山田 井口花道
大野見 門田恵子
越知 高橋朱鳥
久礼 高橋紫秋
高知 池芳春
吾桑 窪田碧泉
久礼 窪田圭子
須崎 岡田雄山
須崎 高橋桜芳
越知 田中恵風
高知 吉田深美
佐川 山本恵歩
久礼 横山桂華
旭筆 桑原智子
吾桑 西内仁子
越知 小波山美喜
旭筆 天野喜泉
鷹ノ巣 松浦明子
山田 北村桂旭
山田 松本世津
山田 田村和子
久礼 大石千施
久礼 山中紅風
久礼 坂本碧香
須南 西森令泉
須南 別役美佐
須南 田村眉州
須南 藤原朱鳳
須南 山川百合
須南 平井桂草
須南 山西春草

審査 武内 美仁

★六段

窪川 明石美桂
旭筆 大井 淳
野市 田村星子
東洋 岩谷紅花
窪川 伊吹悠道
大野見 広田秋桜
須崎 下元玉泉
岡村玉水

★五段

窪川 横田紫秋
山田 中澤英子
山田 西岡仁陽
越知 岡林 翠
窪川 武政幽雅
窪川 岡本薫山
窪川 西村由香
窪川 濱田幸子
窪川 中城康華
窪川 山崎隆志
窪川 吉永光翠
窪川 山脇佳月
窪川 鈴木輝代
須崎 渡辺加寿
須崎 濱田順子
須崎 西森啓助
須崎 高橋伸水

★四段

大野見 高橋翠園

審査 大原 桂園

★三段

窪川 高橋美草
馬路 金子知加
高知 坪内倫子
須崎 松坂美枝
須崎 川下久遠
池川 川内みさ
馬路 西村百花
須南 仁淀川

★二段

多ノ郷 市川美香
仁淀川 後藤和枝
須崎 松坂美枝
池川 川下久遠
馬路 西村百花
須南 仁淀川
高知 川崎志津
仁淀川 藤原勝子
仁淀川 大原紀美子
仁淀川 藤内美知子
仁淀川 山本 房
仁淀川 西尾明
仁淀川 掛水勝恵
仁淀川 川口虎之介
仁淀川 前田伸枝
仁淀川 鶴井未枝
仁淀川 城尾 彩
馬路 久保可奈

★初段

審査 大原 桂園

★一級

山田 尾立千賀
東洋 富山里恵
馬路 芝沙織
久礼 山中英男
東洋 片岡桂子
仁淀川 太田有紀
仁淀川 藤原衣里子
仁淀川 西内史恵
西内俊二

★四級

仁淀川 吉永美佐
仁淀川 片岡晃美

★七級

旭筆 〇川崎 綾
七級編入
仁淀川 岩本龍樹

★新規

★師範 審査 福原 暁雲		★準師範 北村桂旭 別役美佐 田村和子 山川百合 吉田深美 松本世津 岩崎竹山 天原美泉 氏原喜泉 高橋桜芳 山西春草 藤原朱鳳 田村眉川	
★五段 岡本薫山 西岡仁陽 中澤英子		★六段 伊吹悠道 大井 淳 下元玉泉 岩谷紅花	
★四段 山崎隆志 岡林 翠 濱田幸子 鈴木輝代 岡本美水		★三段 坪内倫子	
★二段 松坂美枝 市川美香 西村百花		★初段 西尾明美 川口虎之介 藤田美知子 前田伸枝	
審査 西山 極山		★一級 尾立千賀 川崎志津 太田有紀 富山里恵 西内俊二	
○川崎 綾		★七級	
三年 審査 岡林 邦心		★特待生 朝ヶ丘 橋田茉奈	
二年		★特待生 池川 藤原乙羽	
一年		★特待生 池川 藤原乙羽	
★二級 仁淀川 ○藤原さくら		★二級 鷲ヶ池 高芝仁貴 朝ヶ丘 鍋島 綜	
★七段 須崎 田村拓海 長岡 竹内陽南子 上分 柳本稀衣		★八段 長岡北村さくら子 須崎 谷口桜心 岡豊 島村倅空	
★九段 須崎 金堂莉李 佐古 田村健悟 吾桑 松坂美緒音 須崎 津野聖佳 馬路 小松太緒		★七段 野市 小笠原結那 小高坂 川西康介	
★八段 長岡 森田実咲		★九段 審査 中平 美峰	
毛筆五年		★四段 岡豊 中司こころ	
別府 後藤 樹 池川 藤崎杜真		★五段	

第904回毛筆成績

○印は昇級

★初段 上分 赤崎南美 上分 中山結愛 ★六級 別府 片岡龍威 毛筆四年 審査 中平 美峰 ★八級 須南 西村太希 須崎 毛利香花 ★七級 浦ノ内 正木芳尚 須崎 田村紗雪 ★五級 長岡 竹内伽菜心 多ノ郷 太田朋希 岡豊 島村心遙 上分 梅原未來 ★四段 多ノ郷 森光梨衣奈 長岡 宮脇治太	★三段 越知 藤崎華乃 ★二段 長岡 澤村郁菜 吾桑 長山優奈 ★初段 野市 小笠原瑠那 ★五級 別府○梅原すみれ ★七級 越知 ○宮脇未羽 毛筆三年 審査 深瀬 緑堂 ★五級 上分 吉村はるか 須崎 金堂 涼 ★四段 新莊 中島彩斗 多ノ郷 森光連太郎 多ノ郷 はし田かほ 吾桑 高橋依吹 上分 橋田一か	★三段 岡豊 中司みのり 岡豊 島村昇涯 ★一段 馬路 小松時生 ★五級 長岡 ○大塚もも ★六級 越知 宮脇芽生 ★七級 長岡 ○金堂孝亮 池川 ○藤原汐凜 別府 ○吉永羽唯 ★八級 多ノ郷 ○濱田理仁	もうひつ二年 審査 深瀬 緑堂 ★四段 吾桑 松坂望未 ★二段 吾桑 梅原由菜 ★初段 野市 小笠原恵那 岡豊 荻 かお ★三級 岡豊 ○三谷斗維 ★五級 別府 ○片岡脩平 ★六級 べふ○ ふじはらみずき	もうひつ一年 審査 水田 紅子 ★三級 しんじょう なかじまゆいと ★二段 須崎 金どうこな ★初段 池川 鶴井遥都 別府 後藤和葉 ★五級 池川 ○藤原成琉 ★八級 池川 ○大西悠心	第703回 硬筆成績 ○印は昇級 硬筆六年 審査 森本 寿山 ★特待生 須崎 松田菜乃 多ノ郷 大城リサ 上分 小松希美 多ノ郷 梅原百叶 上分 松浦結菜 ★九級 長岡北村さくら子 須崎 谷口桜心 久礼 森岡 虹 ★八級 浦ノ内 美島希以花 長岡 竹内陽南子 長岡 宮脇改太 浦ノ内 松山 翔 久礼 窪田菜優 ★七段 上ノ加江政岡桃加 岡豊 中司こころ 須崎 田村拓海 浦ノ内 山本彩喜 ★六段 浦ノ内 久保田健介 岡豊 島村倅空 上ノ加江岩田愛菜 上分 柳本稀衣 ★四段 浦ノ内 中田瑚音 ★三段 吾桑 高橋芽生奈 藤沢 駒崎信慈 ★二段 吾桑 堅田有咲
--	---	--	--	--	--

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

こうひつ
硬筆五年

★四段

審査 森本 寿山

★特待生

長岡 森田美咲

★九段

野市 小笠原結那

★八段

小高坂 川西康介

★七段

久礼 薦田コモモ

吾桑 高橋蒼来

須崎 松坂美緒音

須崎 津野聖佳

須崎 金堂莉李

越知 米澤陽翔

佐古 田村健悟

浦ノ内 中平滯里

久礼 黒原小夏

吾桑 西森優奈

★五段

宮岡玲斗
宮崎穂花

★四段

長岡 西内明利

吾桑 笹岡蒼馬

上分 橋田 陸

池川 片岡亜李紗

池川 北村日和

★二段

久礼 堀田瑛太

上分 中山結愛

★四級

上分 ○赤崎南美

★六級

別府 ○片岡龍威

こうひつ
硬筆四年

審査 江西 澄翠

★八段

浦ノ内 正木芳尚

★七段

須崎 田村紗雪

★六段

浦ノ内 藤田彩葉

浦ノ内 池田理人

★五段

岡豊 島村心遥

長岡 竹内伽菜心

越知 藤崎華乃

長岡 宮脇治太

多ノ郷 坂本大和

多ノ郷 光梨衣奈

浦ノ内 梅原未来

上ノ郷 山本瑞貴

上ノ加江 片山陽莉

久礼 日林ゆあ

上ノ加江 吉原綾人

★四段

吾桑 長山優奈

★三段

池川 藤崎菜央

野市 小笠原瑠那

久礼 黒原小春

長岡 猪野光騎

★二段

長岡 澤村郁菜

浦ノ内 森田海音

★四級

別府 ○藤原すみれ

★八級

越知 ○宮脇未羽

久礼 ○細木龍生

★九級

上ノ加江 ○山口蒼生

こうひつ
硬筆三年

審査 野中 恵花

★六段

須崎 金堂 涼

★五段

上分 吉村はるか

吾桑 高橋依吹

多ノ郷 はし田かほ

多ノ郷 森光蓮太郎

★四段

浦ノ内 徳永隼斗

加茂 山岡瑞季

久礼 黒原李香

上分 橋田一斗

新莊 中島彩斗

★三段

岡豊 中司みのり

池川 上村心晴

池川 北村心暖

久礼 政岡有美

長岡 安井 颯

池川 下谷琴春

池川 片岡紗雪

伊藤日向

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

(株) 818 百 齋

高知市南宝永町14-18

TEL (代) (882) 1394番

夜間・TEL (882) 1392番

★二級 岡豊 島村昇河 上ノ加江政岡倉史 久礼 小林奈穂 奈路 植野葵 久礼 岩瀬涉 長岡 金堂孝亮 吾桑 鈴木花 ★初段 城東 丸山颯士 上ノ加江大内柚乃 久礼 加茂みやび 大谷北 倉持百花 吾桑 宮崎陽香 吾桑 堅田彩乃 ★四級 越知 ○宮脇芽生 ★七級 別府 ○吉永羽唯 池川 ○藤原汐零 ★八級 久礼 佐竹真到 ★十級 多ノごう ○濱田理仁	こうひつ二年 審査 市原 處艸 ★五段 吾桑 梅原由菜 吾桑 松坂望未 ★四段 多ノ郷 坂本美咲 浦ノ内吉岡まひろ ★三段 浦ノ内 中平湧大 附属 江頭 航 ★二段 浦ノ内 寺内奏音 久礼 森岡べに ★初段 佐川 井上めい 岡豊 荻 かの 野市 小笠原恵那 久礼 奈路かなえ 高岡 隅田珠有 ★二級 上分 橋田果歩	★三級 岡豊 ○三谷斗維 ★四級 別府 ○片岡脩平 ★七級 べふ ふじはらみずき ★八級 久礼細木しょうき ★九級 奈路 ○坂本翔成	こうひつ一年 審査 市原 處艸 ★三段 しんじょう なかじまゆいと ★二段 須崎 金どうこな ★六級 浦ノ内 ○とくながあやと 久礼 池川 ○小林じゅんな 久礼 大西悠心 久礼 日林にこ ★七級 久礼 毛利いろは ★八級 浦ノ内 ○やまさきひな 吾桑 鈴木 杏 池川 藤原成琉	★新規 九級編入 久礼 下谷なのか こうひつ ようち・ほいく 審査 市原 處艸 ★六級 おひさま もりみつるな
--	---	--	--	---

中国文房四宝
国産書道用品
久保田号銘筆

有限会社 尚筆堂

〒780-0818 高知市宝永町3-3
TEL (088) 882-1454
FAX (088) 884-7413

のり代	
7年 11月 規定	
	地名
	氏名
	段
	級
のり代	
7年 11月 随意	
	臨は出典名
	氏名
	段
	級



浪上理奈氏



池川千晶氏

この度は師範に認定していただきありがとうございます。
書の魅力と難しさ、自身の力の無さを痛感する日々。まだまだ未熟ですが、今回の喜びを糧に、書の奥深さを楽しみつつ、これからも精進を積み重ねていきたいと思っておりますので、宜しく願ひ致します。

大漠沙如雪
燕山月似鉤
何當金絡腦
快走蹋清秋

この度は、準師範に認定していただきありがとうございます。
これもひとえに久礼書道クラブの諸先生方と先輩方のご指導と温かい励ましのおかげだと心より感謝しております。本当ではございませんが、日々努力してまいりますので、今後ともご指導下さいようよろしくお願ひ申し上げます。

秋風南陌無車馬獨上高樓故國情

毛 筆 の 部



池川中学校 二年

藤 原 乙 羽

この度は特待生に選んでいただき、ありがとうございます。
優しく丁寧にご指導してくださった、隅田先生には大変感謝しております。

これからも習字を楽しみながら続けていきます。



鳶中学校 一年

高 芝 仁 貴

この度は特待生に選んでいただき、ありがとうございます。
小一の時から特待生になることが目標でした。小六の時にあきらめそうになりましたが、くじけずに書き続けて、特待生になれたのは、とてもうれしく思います。
ありがとうございます。



多ノ郷小学校 六年

大 城 リ サ

この度は、特待生に選んでいただき、ありがとうございます。
私は毛筆も特待生になれるよう頑張ってきましたので、とてもうれしく思います。これからも字をていねいに書くことを心がけて行きたいです。



上分小学校 六年

梅 原 百 叶

このたびは、特待生に選んでいただきありがとうございます。
私は去年硬筆が特待生になり、それに引き続き、今回毛筆も特待生になり、本当にうれしく思います。
ここまで支えてくださった方々に感謝したいです。
両方とも特待生になりましたが、これからも日々字をきれいに書くことを意識し続けたいです。

毛筆・硬筆の部



須崎小学校 六年

松田 菜乃

この度は、特待生に選んでいただきありがとうございます。
私はお兄ちゃん・お姉ちゃんにつづいて硬筆と毛筆を始めました
が、特待生になることを目標にがんばってききましたので今回はとても嬉しい気持ちでいっぱいです。
これからもきれいな字をかけるようがんばります。

硬筆の部



上分小学校 六年

小松 希美

今回は特待生に選んでいただきありがとうございます。
特待生は初めてのころからの一つの目標でしたので、今、目標が達成できたことがうれしいです。
次は毛筆が特待生になれるように、日々がんばりたいです。

(出品票)	
のり代	
7年 月 筆	
11 月 筆	
毛 筆	
校 名	
保 学 年	
年	
氏 名	
段 級	



附属小学校 六年

江頭 咲良

この度は、特待生に選んでいただき、ありがとうございます。
そして、これまで指導してくださった濱田先生、本当にありがとうございます。
ありがとうございました。

年長さんの頃に硬筆を習い始め、良い字が書けるよう、優しく丁寧に教えてくれました。学校の漢字の宿題ノートでは、硬筆で習ったことを意識して仕上げ、花丸で返ってくるのが嬉しかったです。
濱田先生から教わった字を自分の宝にして大人になってもきれいな字を書くことを忘れないようにしたいです。



長岡小学校 五年

森田 実咲

この度は、特待生に選んでいただきありがとうございます。今回は硬筆が特待生になりました。思うように書けなくてつらくなった時もありましたが、増井先生や家族の応援もあり続けることができました。
次は毛筆が特待生になることを目標にし、がんばって行きたいです。

のり代	
7年 月 筆	
11 月 筆	
硬 筆	
校 名	
氏 名	
段 級	

書と酒杯

○「龍跳」をとって手習を始めてから晩酌を廃したという人が何人かを耳にした。晩酌をしてからは手習が出来ぬからというのである、好きな酒よりも字を書くことがなお好きになつたわけである。

○ダンスが流行り出して、それに熱中して手習を止めた人があゝる、好きな手習を奪うダンスは果して何の益を与えるのだろうか。

○税の旋風、不景氣風は都会といわず田舎といわず吹きまくっている、為に好きな手習を中止しているという人が可なり多いようである、職を奪う不景氣の風は、今や趣味を奪い、食をも奪わんとしている、私共は世の為。道の為、早く此の風の一過せんことを祈るものである。

○如何なる困難に遇っても一つの趣味をもっている人は幸福である、趣味は凡人に於て、最もよい安心立命の地である。

(昭和二十五年十月二十二日)

龍跳特集号「高棲」より



連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳書道会

兼坂口廣隆

01690-3-31925
電話(〇八八九) 三五〇九七一

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八) 八六五―八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話(〇八八七) 二九―二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話(〇八八九) 四二―三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(〇八八九) 四七―〇七二一番

あとがき

九月も下旬に突入しましたが、残暑厳しいというよりも日中は真夏がそのまま続いているように感じる今日この頃です。

それでも朝起きるとキィー、キィー、キィーとモズの「オタケビ」で秋への進行を感じています。

暑さ寒さも彼岸までといいますから、この「あとがき」が皆さんに届く頃は、すっかりと秋になり気温もおちついていることでしょう。とはいえ、まだまだ季節の変わり目、身体の調子にはくれぐれも注意しましょう。

九月二十一日

― 桂 峰 ―

月例競書課題

部 別	縮切日	
	十一月二十日	十二月二十日
一般条幅	任 意	任 意
半紙規定	張翰江東去	蒼苔己有痕
半紙随意	任 意	任 意
中学三年	全山紅葉	健康対策
二年		
一年	生活様式	研究発表
小学六年	世界平和	四国山地
五年	月光の曲	強い北風
四年	文化の日	冬休み
三年	山里	大雪
二年	はやし	だんろ
一年	ふえ	ゆき

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 ：半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10～)
(幸便搬送の方は〒料不要)

①	1 冊	180円
②	2 冊～7 冊	210円
③	8 冊～20冊	430円

21冊以上は次の計算による。

21冊 ③+①=610円×月数
 22冊～27冊 ③+②=640円×月数
 28冊～40冊 ③×2=860円×月数
 50冊の場合 ③×3=1,290円×月数

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分
 誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室 福原 曉 雲

野 島 桂 山
 江 西 澄 翠
 中 平 美 峰

発行人 福原 曉 雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四
 電話 (〇八七) 二九一六五〇

発行所 龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一六五〇

印刷所 (有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六
 電話 (〇八七) 四二一〇三四

月例作品送り先

〒783-0081 南門市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (088) 8651-8857